

第1回境港市民交流センター（仮称）基本設計検討委員会 議事録（要旨）

日 時 平成28年12月23日（金・祝）午前10時～12時40分

場 所 境港市民会館大会議室

出席者 【委員会委員】

丸田委員長、池淵副委員長、増谷委員、木村委員、安倍委員、足立委員、松本委員、高木委員、湯越委員、永井委員、角（俊一郎）委員、角（勝子）委員、梶谷委員（欠席）

【事務局】

木下防災監、田辺福祉保健部次長兼福祉課長、藤川教育委員会事務局長兼教育総務課長、黒崎生涯学習課長、山田自治防災課長、手島自治防災課危機管理室長、園山建築営繕課建築指導係長、浜田生涯学習課生涯学習係長、竹内生涯学習課文化体育係長、北野教育総務課管理係長

【設計業務委託事業者】

石本建築・桑本総合設計共同企業体（以下、「設計事業者」という。）

< 次 第 >

1 開 会

2 挨拶（副市長）

3 委員紹介

4 検討委員会設置要綱の説明

5 委員長あいさつ 及び 副委員長の指名

6 報告事項

◆境港市民交流センター（仮称）の各機能の配置等について

資料1, 2

◆第1回市民ワークショップ及び利用者団体の意見について

資料3

◆市議会からの要望事項について

資料4

7 協議事項

◆境港市民交流センター（仮称）について

①図書館交流機能

②ホール

③会議室

④外観等

8 その他

◆今後のスケジュールについて

9 閉 会

<会議録（要旨）>

◆次第1～5、8、9は省略

◆次第6 報告事項について

設計事業者、事務局から報告（資料1，2，3，4）

（以下主な意見等 ◇：質問・意見等、⇒：回答内容）

<委員長>

ただいまの説明に対し、ご質問等を伺いたい。ただし、個々の機能については、次第7で協議するので、ここでは全般的な事項について質問等を受けたいと思う。

◇（委員長）プロポーザルの審査時には弓ヶ浜広場やエントランスを広く取っている点など評価が高かったと思うが、これらについての活用については、どのように考えているのか。

⇒（事務局）プロポーザル審査は、コンペとは違い、当事業にふさわしい設計業者を決定したものです。

設計内容は、利用者団体からの意見聴取や検討委員会等によって使いやすい設計を考えていきます。

プロポーザルで提案のあった設計内容については、これをたたき台として利用者団体や検討委員会等から意見が出てくると思っていますので、意見を反映し、より良いものにしていきたいと考えています。

⇒（事務局）エントランスの活用等については、次回の市民ワークショップで意見を伺いたいと思っています。

◇（委員）弓ヶ浜の砂を使うとはどういうことか。市民が弓ヶ浜の砂だとわかるようにしてほしい。

⇒（設計事業者）弓ヶ浜広場で、樹脂で砂を固めるなどして使用したいと思っています。

◇（委員）ゲゲゲストリートは、駐車場を横切ることになるがどうするのか。

⇒（設計事業者）駐車場部分については、横断歩道のような形になると思います。

◇（委員）大階段のある設計は、避難に有効だと思う。また、カフェは、図書交流広場側にしてほしい。

⇒（設計事業者）避難通路としては、ホール入場者の半分以上は1階両側にある出入り口を使用するので、大階段がない設計においても2階両側にある階段で避難通路は確保できると考えています。

大階段は、図書機能が2階にある場合に、図書機能のエントランスが2階になるので大階段があると良いと考えています。

◇（委員）基本計画では、免震と耐震は基本設計で検討するとしていたが、どうなっているのか。

⇒（事務局）免震構造にするか耐震構造にするかは大きなポイントとなります。プロポーザル時には、5者中で3者は免震、2者は耐震がよいとされていました。これについては、これから行う地質調査の状況と経費などメリット・デメリットを挙げ、市の考え方も示したうえ、ご意見を伺いたいと思っています。

⇒（委員長）免震は、免震層で揺れを吸収する。耐震は、建物を揺らして建物の構造で揺れのエネルギーを吸収する。ただし、地盤が軟らかいと免震のようにそこで揺れてくるので、軟らかい地盤の上に軟らかいゴムを置くと長周期の地震波の場合、かえって揺れが増幅する場合が多い。そのため、固い層まで杭を打って地盤を固める必要があるがコストがかかる。免震にするか耐震にするかは意識的なものの違いであって、免震構造にしても地震波の性質により、かえって揺れる場合もあるので検討が

必要だ。防災拠点としての機能もあるので、それも踏まえて次回検討したい。

◇（委員）B1案は会議室が隣接し合っているので非常に使いやすい。エントランスホールから近いことも市美術展での展示などを考えると、100号程度の大きな絵画が持ち込みやすく理想的だ。

2階にするなら、エレベータから近くしてほしい。

ホールの親子席があるのも良いと思う。親子席の座席はゆったり取ってほしい。

⇒（事務局）親子席の座席はゆったりしたものにしたと思います。

⇒（委員長）今回は、基本設計であるので、詳細な部分には入らず、ベーシックな部分を検討することになる。

◇（委員）ホールの後ろの壁が開閉するとなるとホールの遮音が心配だ。また、舞台両サイドの壁を無くすことも検討するとあるが、そうすると雑音が入ると思うし、空気の移動が起こるのではないかと危惧する。

⇒（設計事業者）ホールの後ろの壁は、遮音性の高い壁で二重にすることを考えています。

舞台側の壁を無くすことは舞台袖が狭いからという理由で利用者団体から出た意見です。どうするかは決まっていないが、舞台袖を広げたいという意見があることを伺っています。

◇（委員長）ホールでの演奏が図書機能に影響はないのか気になっている。このような複合施設の事例を挙げて話してほしい。

⇒（設計事業者）全国では公共施設のコンパクト化が進み複合施設はどんどん増えている。

複合施設として、ホールの大・中・小があるところがあり、そこでは図書館との複合施設よりもより静粛性が高く求められています。そのような場合、よくホールとホールの中の壁は構造的に切れていて柱がそれぞれに立ち、壁と壁の間に隙間ができています。そうして音の伝搬をカットしています。こちらの複合施設についても、そのような工法が考えられます。

◇（委員）外観が凝ったものになっているので、維持管理面で心配だ。市の文化ホールは雨漏りなど問題が多い。外観は管理しやすく維持費がかからないものにしてほしい。

ホールはB2案で、ホールを南北方向に逆向きにしてはどうか。市の第2庁舎の際に高い建物が立つことになるので逆向きが良いと思う。そうすれば可動座席を床下収納にしなくてもよいし良いと思う。可動席を収納した場合の多目的ホールの面積が、基本計画では600平米だったが、今回は500平米になっているので、その説明をしてほしい。

⇒（設計事業者）外観は維持管理もしやすいように考えています。ガラス面はサッシにガラスがはまっております。雨漏りについてはガラスをとめているシールは10年はもつし、シリコン入りのシールにすると20年近く持ちます。ガラス面の清掃については、1平米あたり150円から200円で、ガラス面は幅70m×高さ7,8mであり、560平米位になりますので、200円×560平米で1回12万円くらいです。年2回くらい清掃していただきたいので24万円くらいになります。

文化ホールとの比較で言うと、文化ホールの建物本体は小さいのにRCの壁が多く、表面積がすごく広く管理の手が回らなくなっていますが、こちらの複合施設は各機能をくっつけて、外壁の表面積は非常にコンパクトに作っていますので、外壁のメンテナンスは最小限になっていると言えると思いま

す。次にB 2案のホールの逆転については、逆転すると側面をオープンにしても舞台部分が広いので、エントランスとのつながりを考えるとオープンできる面が半分くらいに小さくなってしまいます。そのほか楽屋への搬入についても不便になると思っています。

多目的ホールの面積は、ホール全体が2,700平米であることから、800席とトイレ、楽屋などを2,700平米に収めるのはかなり難しく、平土間の多目的ホールは550平米くらいになります。

舞台を1階の高さに合わせる案では、全体で平土間の面積を800平米くらいにできるので、平土間の多目的ホールを広く取るためには、この案がおすすめです。

◇（委員）公園やカフェでも本を持ち出して読めるような広がりをもった設計にしてほしい。

ゲゲゲストリートは、図書機能を分断してしまうので無い方がよいと思う。

◇（委員）C案では楽屋を北側にしているため、その分、北側の駐車スペースがなくなっているが、反対に楽屋がなくなった西側には駐車スペースができるのではないか。

⇒（設計事業者）言われる通り、むしろ駐車台数は増えると思います。

◇（委員）市民の山の杉の木を庇に使用するとあるが、木材を庇に使用するのは、耐久性に問題があるし風雨に弱いと思う。また、市民の山は水源涵養林であり、簡単に切り出せるものではないと思う。

⇒（設計事業者）庇の木材は軒下に使用するので雨は直接あたりません。また、耐久性が担保できるところにしか使いません。市民の山の木でなくても、鳥取県産材でも良いと思っています。

◆次第7 協議事項について

（以下主な意見等 ◇：質問・意見等、⇒：回答内容）

<委員長>

それでは、次第7協議事項に入ります。ここでは皆さんの意見を伺いたいと思います。

市の考え方に対する皆さんの意見を順番に聞いていきたいと思っています。

◇（委員）従来からシンプルで頑丈な建物がよいと言ってきた。私の考えとは違っているが、頑丈な建物にしてほしい。また、女性用トイレを増やしてほしいことと、駐車場が分散しているので管理が難しいと思うし、まだ足りないのではないかと思う。

設計図案については、図書機能が1階のA案がいいと思う。

◇（委員）基本計画のテーマである防災と交流を備えた建物にして、その中でバランスを考えていかなければいけない。A～C案のそれぞれの機能の有効面積を示してもらおうと判断しやすいと思う。

設計案の中では、直感的にはB 2案が良いと思った。建物の西側に駐車場が広く取れるし、可動座席を地下に下げなくてもよく経費削減になる。しかし、図書機能は1階が良いと思う。

◇（委員）賑わいを創出することを望んでいる。一つに絞れない。いいところ取りをしたい。大会議室が1階だと展示もできて良いと思う。図書機能も1階が良い。ストリートは図書機能を分断するという感覚ではなく、展示コーナーなどを配置して使えるようにしたらよいと思う。文化財倉庫と学習室、中会議室は隣接して繋げることで、展示や学習など広く有効活用ができるようにしたほうが良い。防災は2階、高齢者福祉も2階で、基本的にはA案が良い。

ホールはC案にして、駐車場を広げたい。

- ◇（委員）C案では、出演者は下手から出るのに楽屋が上手側にあるので、かなり回らないといけない。A案がよい。
- ◇（委員）図書機能が広がりのあるものになったら良い。藤原啓のレリーフを活用してもらいたい。A案がよい。
- ◇（委員）経費も考えB2案が良いと思う。デザインはカーブしなくてもよい。まっすぐにすると駐車場も広がるし、カーブの先端は使えない。
- ◇（委員）今回は勉強したところで、発言は控えたい。
- ◇（委員）ストリートは防災面でも有効であると思う。カーブでなくてもよい。デッドスペースができるし、維持管理面でも良くないと思う。価格的に安価なのならB2案が良い。スペースについても、これだけの広さが必要なのか疑問に思うところもある。
- ◇（委員）原点にかえると、防衛補助金で進んでいる。図書機能のことばかり話が出て、防衛との交流が出てこないのが、防衛補助が削減されるのではないかと心配する。自衛隊との交流を入れてほしいと思う。
- ◇（委員）図書機能、会議室機能をまとめたほうがよい。そのためA1案が良いと思う。
- ◇（委員）A案が適していると思う。自衛隊との交流はエントランスホールをもっと積極的に使用したら良いと思う。
- ◇（委員長）ソフト面をもっと検討してほしい。各種イベントを手掛けてほしい。その方が賑わいを創出できると思う。エントランスの交流機能が活発化すると図書機能は少し離して2階にしてもいい気がする。予算的にみると図書機能1階では吹き抜けができて予算が高くなるし、天井が高くなるので照明の工夫が必要になる。また、皆さんの意見を取り入れていくと、どんどん値段が上がってしまう。これから東京オリンピックに向けて建築資材も高くなるので、少し縮小しながら、将来的には防災で非常用トイレなどの予算を確保してほしい。
- ◇（委員）弓ヶ浜のカーブは心を癒す面では良いと思っている。
- ◇（委員）各案の駐車場の台数を、現状と併せて出してほしい。
- ◇（委員長）他に意見がなければ、今回の意見を踏まえて基本設計を進めてほしいと思う。

以上